



## 教員紹介

## リハビリテーション学部

## 越智 亮 OCHI Akira

職位	准教授
最終学歴	京都大学大学院医学研究科博士後期課程
職歴	医療法人新松田会愛宕病院リハビリテーション科を経て現職
学位	博士（人間健康科学）
資格（免許）、認定	理学療法士免許
担当科目（学部）	老年期障害理学療法学 / 理学療法学研究法 / 物理療法学
担当科目（大学院）	健康支援学研究法 / 生活活動学特論 / 生活健康支援学演習 I
学生へのメッセージ	学生のみなさんが勉強にさらに興味を持ってもらえるように、理学療法学の楽しさや、やりがいを伝えていきたいと思っています。
研究内容	<p>特定の運動課題を繰り返し行うと動作が習熟され、パフォーマンスが向上します。運動学習に伴って現れる動作パターンの変化について、運動学的な種々の手法を用いて研究を行っています。現在は高齢者の転倒予防について、主に転倒回避動作である足の踏み出しに着目し、どのようなトレーニングが転倒予防に有効であるか研究をすすめています。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 高齢者の転倒に関するバイオメカニクス研究</li><li>2) 高齢者を対象とする転倒予防のための運動療法の開発</li><li>3) ヒト直立姿勢と平衡に対する運動制御機構の解明</li><li>4) 高齢者の筋機能特性と敏捷性との関係に関する研究</li></ol>
研究分野キーワード	高齢者 / 転倒 / トレーニング / バイオメカニクス / 介護予防
URL	
著書	<ol style="list-style-type: none"><li>1) <b>越智 亮</b>：シンプル理学療法シリーズ，物理療法学テキスト（改訂第3版），第4章 力学的エネルギー，『振動基盤型療法』．細田多穂（監），木村貞治，沖田実，Goh Ah Cheng（編），南江堂，pp316-321，2021.</li><li>2) <b>越智 亮</b>：高齢者理学療法学，3章 高齢者の評価，『基本動作の評価』．島田裕之・牧迫飛雄馬・山田実（編），医歯薬出版，pp201-209，2017.</li></ol>

3) **越智 亮**：シンプル理学療法学シリーズ，高齢者理学療法学テキスト，1. ライフステージと高齢者像，『高齢者の定義と分類，老年期の発達課題と「老い」の受容』．細田多穂（監），山田和政・小松泰喜・木林勉（編），南江堂，pp6-10, 2017.

4) **越智 亮**：理学療法評価学，9. 日常生活活動（ADL）の評価．市橋則明（編），文光堂，pp44-50, 2016.

ほか 5 件

1) 塚田晋太郎，**越智 亮**，細井雄一郎，牧邨実優，今井一希，江西一成：脳卒中片麻痺患者の歩行解析における二次元動作解析システムを用いた膝関節角度計測の信頼性と妥当性．日本基礎理学療法学雑誌23: 88-96, 2021.

2) **Ochi A**, Ohko H, Hayashi T, Osawa T, Sugiyama Y, Nakamura S, Ibuki S, Ichihashi N: Relationship between balance recovery from a forward fall and lower-limb rate of torque development. J Motor Behav 52: 71-78, 2020.

3) 塚田晋太郎，**越智 亮**，江西一成：矢状面上の歩行解析における二次元動作解析システムを用いた膝関節角度計測の信頼性と妥当性．愛知県理学療法学会誌31: 52-58, 2019.

4) Ohko H, Kajihara F, Hayashi T, **Ochi A**, Kumagawa K, Okawa H: Physical activity and daily nutrient intake for prevention of lifestyle-related diseases in individuals with spinal cord injury. Biomed J Sci Tech Res 14: MS.ID.002495, 2019.

5) **Ochi A**, Ohko H, Ota S, Shimoichi N, Takemoto T, Mitsuke K: Custom-made hinged knee braces with extension support can improve dynamic balance. J Exerc Sci Fit 16: 94-98, 2018.

6) **Ochi A**, Fukumoto M, Takami R, Ohko H, Hayashi T, Yamada K: Effect of ankle stretching combined with arm cycling on the improvement of calf muscle stiffness in patients with stroke: a pilot study. J Phys Ther Sci 30: 1305-1309, 2018.

7) Hayashi T, Kondo K, Kanamori S, Tsuji T, Saito M, **Ochi A**, Ota S: Differences in Falls between Older Adult Participants in Group Exercise and Those Who Exercise Alone: A Cross-Sectional Study Using Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES) Data. Int J Environ Res Public Health 15: pii: E1413, 2018.

8) **越智 亮**，福本 将久，高見 亮介，大古 拓史，林 尊弘，山田 和政：特別制作した受動トルク計測器で得られた下腿三頭筋スティフネスの妥当性と再現性の検証．理学療法科学33: 591-596, 2018.

	<p>9) Ota S, Ogawa Y, Ota H, Fujiwara T, Sugiyama T, <b>Ochi A.</b>: Beneficial effects of a gait used while wearing a kimono to decrease the knee adduction moment in healthy adults. PLoS One 12: e0179260, 2017.</p> <p>ほか査読付き原著論文23件 査読なし総説, 紀要等 34 件</p>
<p>学会発表</p>	<p>1) <b>越智 亮</b>, 他: 高速大腿挙上トレーニングが高齢者の股関節屈曲の筋力発揮率と転倒回避ステップに与える効果. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2020年8月, 京都府・オンライン開催)</p> <p>2) <b>越智 亮</b>, 他: 大学1年次の学業成績に影響を与える因子の検討~星城大学リハビリテーション学部における分析~, 第32回教育研究大会・教員研修会, 全国リハビリテーション学校協会主催 (2019年8月, 愛知県)</p> <p>3) <b>越智 亮</b>, 他: 転倒経験高齢女性における前方転倒回避ステップ着地後の身体動揺特性. 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2019年6月, 兵庫県)</p> <p>4) <b>Ochi A</b>, et al.: Effect of ankle stretching combined with arm cycling on the improvement of calf muscle stiffness in patients with stroke. World confederation for physical therapy congress 2019 (May 2019, Switzerland)</p> <p>5) <b>越智 亮</b>, 他: 脳卒中片麻痺患者に対する足関節背屈ストレッチ中の上肢サイクリング付与が麻痺側下腿三頭筋のスティフネスに与える効果. 第16回日本神経理学療法学会学術大会 (2018年11月, 大阪府)</p> <p>6) <b>越智 亮</b>, 他: 転倒回避ステップのバランス回復能力と下肢筋Rate of force developmentとの関係~50ミリ秒毎のRFDに着目して~. 第33回東海北陸理学療法学術大会 (2017年11月, 福井県)</p> <p>7) <b>越智 亮</b>, 他: 側方転倒回避のサイドステップとクロスオーバーステップの運動学的分析. 第52回日本理学療法学術大会 (2017年5月, 千葉県)</p> <p>8) <b>越智 亮</b>, 他: 高齢者の前方転倒回避ステップ着地後の安定性に関わる体幹筋活動. 第51回日本理学療法学術大会 (2016年5月, 北海道)</p> <p>ほか37件 ※筆頭でない共同発表は除く</p>
<p>社会的活動 (公開講座・講演・国際交流など)</p>	<p>【所属学会】</p> <p>1) 日本理学療法士協会 2) 愛知県理学療法士会 3) 理学療法科学会</p>

ほか 4 学会

**【役員その他】**

- 1) NPO 法人愛知県理学療法学会 学術誌部長
- 2) 東海市環境審議会委員

その他